



二〇二六 春号

# 海禅寺新聞

Vol.49

## 『海禅寺新聞』第49号

境内の梅の開花に春の訪れを感じる季節となりました。檀信徒の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

まずは、本号の発行発送が大幅に遅れましたことを、お詫び申し上げます。遅れはせながら、春の便りとともに本紙をお届けさせていただきます。

さて、当寺に隣接する認定こども園 芙蓉園では、間もなく卒園式を迎えます。寺の勤めと合わせて、住職はじめ寺族一同、日々子供たちの元気な声に包まれながら共に過ごしてまいりました。

小さかった背中がたくましくなり、希望に胸を膨らませて巣立っていく姿を見るのは、何物にも代えがたい喜びです。日々、子どもたちの成長を間近で見守らせていただける幸せを、改めて噛みしめております。

この三月、私たちは東日本大震災から十五年という大きな節目を迎えました。あの日、失われてしまった多くの命に、改めて哀悼の意を捧げます。

そうして考えてみると、これから卒園していく子どもたちは、震災の後にこの世に生を受けた世代です。十五年という歳月は、悲しみを抱えながらも、新しい命が芽吹き、育っていくための時間でもありました。

仏教では、私たちの命は自分一人の力で存在しているのではなく、教えきれないほ

どのご縁によって「生かされている」と読んでいます。日々元気に走り回る園児たちの姿と、あの日から十五年を歩んできた私たちの歩み。そのどちらもが、尊いご縁の中にあるのだと感じずにはいられません。今、こうして命があること。誰かと共に笑い、泣き、明日を迎えられること。それは決して当たり前ではなく、奇跡のような有り難い出来事なのです。

まもなく春分の日、お彼岸を迎えます。お彼岸は、亡き大切な方々を偲び、今の自分を支えてくれていた様々な繋がりに感謝を捧げる時間です。

「今を生きる」喜びを、ご先祖様への報恩の祈りに変えてまいりましょう。季節の変わり目、皆様どうぞご自愛ください。

### 春彼岸会 中日法要のご案内

恒例の春彼岸会法要を海禅寺本堂でお勤めいたします。皆さんで先祖の供養をいたしましょう。どうぞご家族そろってお出かけください。(申込不要)

日程：令和8年3月20日(金・祝)  
時間：受付 午前10時  
法要 午前10時30分

※法要終了後は茶話会をいたします。お時間許す方はご歓談ください。

※彼岸会中日法要の供養塔婆をご希望の方は、3月19日(木)正午までにお申し込みください。(供養塔婆料 一基 3000円)

※同日午前9時～午後1時まで永代供養堂の扉を開けています。お堂の中には入れませんが、外からご自由に参拝いただけます。

電話：0268-2212972  
ファックス：0268-261147



### 『生きる力 vol.124』送付

今回の特集は『連綿と受け継がれていく 智積院の法灯 吉田宏哲 晋山傳燈 奉告法要』です。

詳細は本誌紙面に譲りますが、この度、私たち真言宗智山派の管長猥下が、前布施浄慧猥下から吉田宏哲猥下へとそのお立場が引き継がれました。その慶祝法要が去る令和7年10月8日に総本山智積院にて行われました。海禅寺住職も総本山の「集議」という重役を拝命しているため、本法要に出仕してまいりました。快晴の秋晴れの元、素晴らしい法要となりました。どうぞ「生きる力」を一読ください。

### 告知 『海禅寺ヨガタイム』

ご案内の通り、海禅寺で月一回のペースでヨガ教室を行っています。未経験者大歓迎です。単発の参加でも大丈夫です。ご希望の方は、QRコードかお電話でお申込みください。

奇数月は通常のヨガクラス、そして偶数月は「姿勢改善ヨガクラス」となります。これは筋膜リリース道具(3種)とストレッチポールを使用します。美姿勢エクササイズで美ボディ&アンチエイジングを目指します。

指導：山浦 佳子 先生  
日程：4月以降の予定を調整中です。

早急に告知しますので、左記QRコードからご確認ください。

指導：各回午後2時半～(約90分間)  
費用：1回1500円  
会場：本堂または会議室  
定員：15名  
申込：必須です

参加申し込みQRコード↓  
電話での申し込みも受け付けています。



### 告知 今年もの団参やります!

#### 只今、計画中・・・

昨年久しぶりに企画しご好評をいただいた海禅寺の団参。団体で参拝することを「団参」と言いますが、今年は関東圏の大本山へお参りすることを検討中です。秋を予定していますが、詳細が決まりましたら、追って告知させていただきます。



おねがい

### 第15回 聖天祭 開催決定

檀信徒の皆様にご理解ご協力をいただき5月の恒例行事となった聖天祭は、おかげさまで15回目となります。

実行委員会では、お祭りをお手伝いいただけるスタッフを大募集中です。内容は、会場準備・片付け・駐車場係・会場案内・見回りなどですが、ご無理のない可能な時間帯に限ってでも構いません。お祭りを作り上げる喜びを共有していただき、お祭りの皆さんが、あたたかな仲間としてご縁が広がっていくことを願っております。ぜひお気軽にお問い合わせください。

※受付数に限りはありますが、出店者の募集もしております。いわゆるテキヤの方のお申込みはお断りしております。詳しくは寺にお尋ねください。(事前申込必須)

【聖天祭 日時】  
日程：令和8年5月17日(日)  
時間：午前10時～午後3時

よろしくお願ひます

しょうてんまつり

# 聖天祭

スタッフ大募集



聖天祭のお手伝いをしてくださる方は、左記のQRコードから、またはお電話にてご一報ください。

聖天祭スタッフ  
申込フォーム



### 後七日御修法に出仕

海禅寺住職が、本年も得難いご縁をいただき、後七日御修法(ごしちにちみしほ)に出仕して参りました。

『後七日御修法とは、毎年1月8日より14日まで、京都の教王護国寺(東寺)に於いて真言宗十八本山のご山主猊下をはじめとして各山の高僧方15名がそれぞれの配役を司り、総勢百名近い僧侶が相携え、一日二座七日間にわたり国家の安泰や世界平和を祈願する修法です。

弘法大師空海さまのご進言により、中国・唐の高僧が皇帝のために始めたのにならって承和元年(834年)に宮中真言院で営まれたのが始まりです。翌年には弘法大師さま自らが大阿とよばれる御導師となつて奉修されました。それ以降諸般の事情により一時中断はありましたが現在まで継承されています。(智積院HPより)』

海禅寺住職は昨年のように15名の僧侶の一人としてではありませんが、「定額位阿闍梨」という御役目を拝命し、中日の

一座のみでしたが出仕の栄を賜りました。小雪が舞う中、上堂の際は大変に京都らしい冷え込みがありました。快晴に恵まれて無事勤めを果たすことができました。ここに檀信徒の皆様にご報告申し上げます。有り難うございました。

南無大師遍照金剛 合掌



### ご法事のススメ

ご法事は、亡き大切な方と心を通わせ、私たちが『今、ここにあること』を感謝する貴重なひとときです。

慌ただしい日常から少し離れ、菩提寺の本堂で静かに大切な故人様、またご先祖様を想う。法事という時間は、亡き方への供養であると同時に、私たちの心を整える『心の休息』でもあります。

ご法事について、どうぞお気軽にご相談ください。

「法事の計算は難しく」というお声をよく耳にします。そこで、令和八年に節目を迎えられる方の早見表を作成しました。この表をご覧になって、「そろそろかな」と心に留めていただだけで、故人様への何よりの供養になります。法事をおこなうかどうかは、ご家族の状況に合わせて、どうぞご無理のない範囲でご判断ください。

※この年忌表掲載については、あるご法事の後席で、ある檀家さんからアイデアを頂戴しました。ありがとうございました！

### 令和八年 年忌表

一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十五回忌	平成十四年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
三十七回忌	平成二年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

